

氏名	西 条 寿 一
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第3093号
学位授与の日付	平成9年3月25日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	脳静脈環流障害に関する実験的研究
論文審査委員	教授 庄盛 敏廉 教授 黒田 重利 教授 菅 弘之

学位論文内容の要旨

成猫の脳静脈の解剖学的特徴をMercocox樹脂を用い観察した結果、表在静脈系は上矢状静脈洞が横静脈洞を介して内頸静脈に環流するものと、板間静脈を介して外頸静脈に環流するものが存在することがわかった。上矢状静脈洞と板間静脈を閉塞することにより定常的な脳静脈環流障害モデルを作成することができた。

本モデルにおいて、頭蓋内圧亢進、局所脳血流量の減少、脳血液量の増加、脳水分含有量の増加、体性感覚誘発電位NI潜時の延長をきたしたが、脳血液関門は保たれていた。

脳静脈環流障害時に生じる浮腫は、血管内外の静水圧差により生じる hydrostatic edema が主体と考えられるが、hydrostatic pressure gradientの存在下に、cytotoxic edema がより著明になった可能性も考えられた。

論文審査結果の要旨

本研究は脳循環障害を静脈環流の側面に重点をおいて実験的に研究したものであるが、まずネコを用いて従来の上回る再現性のよい脳静脈環流障害モデルを作成したこと、ついでこのモデルを用いて頭蓋内圧、局所脳血流量など5種のパラメータの確実な時間経過による変化を明らかにしたこと、さらに生じる脳浮腫の発生機構を説明しうる変化を認め、など脳循環障害の理解を一步前進させる重要な基礎的知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よつて、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。